

国際ロータリー第2730地区

高鍋ロータリークラブ

会報



会長 野添 勝久
 副会長 中武 功見
 幹事 石田 喜克
 例会日 毎週木曜日 12:30~13:30
 例会場 ホテル泉屋 2F
 事務所 宮崎県児湯郡高鍋町大字北高鍋1368-4
 ホテル泉屋内 TEL・FAX 0983-21-1636

第2219回 令和4年9月1日プログラム

- | | |
|---------------|--------------|
| 1. 点 鐘 | 7. 月初めのセレモニー |
| 2. ロータリーソング | 8. BOX披露 |
| 君が代・奉仕の理想 | 9. 委員会報告 |
| 3. ビジター・ゲスト紹介 | 10. 点 鐘 |
| 4. 会長の時間 | 11. |
| 5. 幹事報告 | |
| 6. 出席報告 | |

高鍋ロータリークラブテーマ

『無理なく、居心地の良い楽しいクラブに』

第2730地区ガバナー 山ノ内 文治

中部グループガバナー補佐 藤本 範行

RI会長テーマ 『想像してください。』

私たちがベストを尽くせる世界を。』

第2730地区テーマ 『知力を高め 未来に繋げ

多様性あるロータリークラブの実現に』

9月の月間テーマ

基本的教育と識字率向上月間

本日の例会案内

- | | |
|-------------|-----------|
| *月初めのセレモニー | *雑誌紹介 |
| *会員卓話—長野孝吉君 | *米山ランチBOX |
| *例会終了後理事会 | |

次週例会案内; 9月8日 (第2220回)

- *血圧測定
- *会員卓話—中武功見君
- *ポリオBOX

第2218回 例会内容 (8/25)

□会長の時間

皆さん、こんにちは。

8月22日第104回目全国高校野球選手権大会決勝戦、不謹慎ですが社の職員が仕事中私一人TV観戦をしました。仙台育英と下関国際、内心富島の対戦相手の下関国際に勝って欲しかったのですが、精一杯やった下関国際の選手らに悔いはないで

しょう。24日は東児湯地区中学校英語暗唱・弁論大会がありました、我がロータリークラブのピアニストのお嬢さんが暗唱の部のトップバッターで登場、私の孫も弁論の部でした。結果は県大会に出場の切符を頂きました。子供達は英語暗唱・弁論大会という貴重な良い経験になったと思います。

私事ですが、本日は嬉しい報告があります。

先週会長の時間でお知らせしたハリスホークのロストの件です。例会の後、高鍋税務署と高鍋警察署に石田幹事と2人で挨拶に行きました。ついでに警察でペットが居なくなった話をして、遺失物の届出を致しました。保健所

会長 野添 勝久 君



にも一報入れときなさい、SMSでの拡散も試みるように、鷹匠からの忠告で高鍋保健所にも連絡しました。翌日は、設計仲間に誘われていて、あまり気のりしなかったのですが約束していたので宮崎サンシャインCCに行きました。午前中の上りのホールで携帯がなり高鍋署の会計課から、川南の民家で鈴を付けた鷹が鳴いているがまだ確保はしてないと連絡が入りました。急ぎ聞いた電話番号へかけました、「先程まで鳴いていただけ居なくなった」と言われ午後プレーを続行、気もそぞろで55点合計98点も！公民館の改修の設計を委託されていて打ち合わせの時に鷹が逃げた話を公民館長にしました。早速館長から電話で近くの屋根に留っていると情報がありました。何が分羽があるので、またまた飛び去った後でした。その間この子を育てた鷹匠から、お願いですから諦めないで下さいとラインで呼ぶ方法やルアーまで送ってくれました、諦め半分で探していたら電柱に留っていますよ！家出るとき餌（解凍した30日令の地鶏のヒナ丸ごと）を持って出たので、グローブで握り呼べども鳴くだけで降りてこない、苛ついていただけ我慢して餌を田んぼに置いていたら、羽広げて舞い降りてきました、チャンスです諦めかけていただけに（ちむどんどんしましたよ）暫く食わせたら意外と簡単に据え上げ出来て確保しました。最初の情報提供者に電話代と称して粗品、公民館長にはお礼を言い、警察や保健所にも事情を報告し全て完了、現在早朝と夕方紐付きで飛ばしています。かなり慣れてしまし

たが、もう少し我慢してやがてフリーでと楽しみです。先週祈りを込めて入れたボックスが良かったのでしょうか、「最も良く奉仕する者、最も多く報われる」を勝手な解釈で実感したところです。他愛のない、帰ってきた鷹の報告と孫の自慢話でした。本日もロータリーをお楽しみ下さい。

□幹事報告<文書案内>

*地区R財団補助金管理セミナー (ZOOM) 会議次第
日時 9月4日(日)13:00~
ID. パスコード 案内
*中部グループ会長幹事会
日時 10月12日(水)18:30~
場所 宮崎市 「垂矢」

幹事 石田 喜克 君



□ロータリー財団寄付表彰

PHF マルチプル+2

向山 健一君



□新入会員卓話

高鍋ロータリークラブ会員の皆様、こんにちは。

会員番号 41 番、後藤正弘です。簡単ではございますが、まず初めに、自己紹介をさせていただきます。

私は、昭和 36 年 (西暦で言いますと、1961 年) 10 月 14 日生まれで、干支は、丑年、星座は、てんびん座でございます。

歳は、ちょうど 60 歳です。性格は、温厚で優しくそして誰よりも力持ちでございます。そのおかげかわかりませんが、物を運ぶのに何回も重いものを運ばされ (物とっては失礼にあたるので、要約すると死んだじいちゃんとか、おじさんとかおばさんとか、4 体ほど運ばされました) だから、日頃より鍛錬をし、まだまだ多い、親戚の為、現在も身体を鍛えております。

また、現在、株式会社後藤住宅設備の代表でもあります。

仕事内容としては、主に水道工事で、この関連から説明すると、修行 (川南の日高設備 5 年、新富の黒木設備が 10 年) toutaru 修業期間 15 年、個人で初めて 5 年、株式会社にしたのが、平成 20 年です。14 年 toutaru すると 34 年にもなっているのですね。この卓話がなければ、計算もしてなく、常に突っ走ってきたんですね。本日わかった次第です。現在は、会社運営っていうか突っ走ってきた

後藤 正弘 君



ので、今からも突っ走って頑張っていきたいと思っています。また、平成 26 年から高鍋町議会当選をいただき 8 年務めさせていて頂いております。皆様のおかげだと常々、青木善明さんが言われております。ご報告です。

よき伴侶の事を口に出さないがと、会員の皆様は思っていると思いますが、ここではあえて触れません。どうしても聞きたいなと思ったときは、僕にアポイントを取ってください。有料でお話をさせていただきます。

そして、口を大にして言いたいことは、高鍋町町政に私のお爺さま畷時から、私し後藤正弘までで 75 年務めさせていたという経緯があります。これからは、まだまだ突っ走ります。草葉の陰で私の父後藤善良も喜んでいますが、お盆に墓掃除したので、墓の周りの草は生えていないので、どこかで見ているでしょう。

こんなことを言うと、また、青木善明さんに怒られるかもです。そんなこんなで、よく青木善明さんが話に出てくるとおもういでしょうが、何故かいつも不思議に、出てくるのです。青木さんは、僕より 12 歳も年上、逆らえるわけじゃないです。が、たまには、私が、ご指導をします。また怒られそうです。きっと。

話をもとに戻しますが、人生の中で、こんなに親しみを持てる方はそういない。皆さん、僕の世界の中の中ですよ。

会員の皆様には強制はしません。ただ、人生の道しるべ、みたいな厳格な方で、考えを常に良き方向に導いてくれる。僕の大事な兄貴です。そんな良きご縁の友人が、この、ロータリークラブへお導き下さり、本当に感謝しております。そしてロータリークラブ (ロータリークラブなのでよんいち) 世間では、41 番、本当は、42 番だったのですが、九電児玉所長が入ってこられましたので、1 か月で一番上がりましたので、現在は 41 番です。感謝しております。ひそひそ話ではありますが、会員 40 番の甲斐工務店の甲斐さん、実は、僕が初ロータリークラブに入会するとき、電話があり、僕は仕事の話かなと思って早ばやとると、なんとロータリークラブの内容で、小銭入れはもってるね。はい、というと 1000 円札をこわして小銭にかえちよきないね。ブチ、ときられ、わからなかったので、当日きたら意味が分かり、今毎週、回ってくる募金缶には募金をさせていただきます。そんなこんなで悪戦苦闘の日々を過ごしていますが、先週木曜日、茂木先生が血圧を測定してくださり、正常よと言われ、保険証も持ってこないのに診察料も払っていないのにボランティア診察していただき改めて感謝申し上げます。

最後になりますが、女性会員を増やすことについて、石田幹事長より使命を受けていたので、ご報告申し上げます。一年間で女性会員を増やすのですが、リスクもなくただ長い時間が過ぎるのを待つ人が多いようなので、女性会員を増員していく月間をつくり、その月間だけは、それぞれ各自が委員長に申し出るというのは、いかがでしょうか。もっと、雰囲気も引き締め、良い方向に向いていくとおもいますが、いろいろと、高鍋ロータリークラブでの卓話をさせていただきました。歴史も古い格式の高い高鍋ロータリークラブとご縁をくださった、当時の長濱

会長、川上幹事に心より敬意を払うとともに、出会いのチャンスを作ってくれた、青木善明さん、諸先輩方、ありがとうございました。これからも、精進し、私の座右の銘でもあります、一視同仁の気持ちで、事に当たってまいります。また、突走って参りますのでよろしくお願い申し上げます。長、長、長ご清聴ありがとうございました。

□新入会員卓話

児玉 幸則 君

～仏作って、魂入れる～

新入会員の児玉です。

入会させていただき、早2ヶ月になろうとしておりますが、みなさんの顔とお名前を覚えるのが今のところ精一杯の状況で、お役に立っておりませんが、みなさんの温かい人柄に魅了され、毎週、木曜日を楽しみに出席させていただいている次第です。

先月、少し自己紹介をさせていただきましたが、もう一度、話させていただきますと、日向の港町の細島で生まれ育ち、海端だったので、幼いころのおかずは魚が主で、あまり肉が食卓に並んだ記憶がなく、泳ぐのも得意とまではいきませんが、海岸で遊ぶのが好きでした。先月、会長がウナギを捕まえていた話をされましたが、自分も子供のころに「海に潜って、貝などを取っていたな」と思い出しました。

さて、本日のお話ですが、「何を話そうか」といろいろ考えましたが、思い浮かぶことがなかったので、先月、防災の研修を受けまして、来週9月1日の防災の日も近いことから、研修で伺った「仏作って、魂入れる」という話をさせていただきたいと思います。防災に携わっている方もいらっしゃるかもしれませんが、私を感じたことを少し聞いていただければと思います。私が、何故この防災の研修を受講することになったかと言うと、勿論、自ら進んでと言いたいのですが、そうではなく会社から「所員や地域を守っていくためにも受講しなさいよ」と言われたために、仕方なく受けることにしました。これから防災士を目指して、「緊急救命の講習」、「防災士レポートの提出」、「防災士専門研修」、「最終試験」と約半年かけて取り組むことになります。

最近も大雨による洪水など多くの災害が発生していますが、被害を最小限に食い止めるためには、「自助」、「共助」、「公助」による3つの活動が効果的だと話しておられました。ご存知の方もいるかも知れませんが、自助とは何かと言いますと「自分の身を自分の努力によって守る



(要は自分の命は自分で守る)」ということだそうです。日頃から準備されている方もいると思いますが、家庭での備えをしっかりとっておく必要があるとのことで、例えば、「ハザードマップで危険箇所等、住んでいる地域の特性を知っておくとか」、「家族みんなで、いざという時の連絡方法、避難場所、避難経路を確認しておくとか」、「非常持ち出し品(非常食、飲料水、貴重品、携帯ラジオ、懐中電灯、マスクなど)を準備しておくとか」、「家具は固定したり、高いところに物を置かないとか」だそうです。つぎに共助ですが、「地域や近隣の人が互いに協力し合う」ことだそうです。研修の中では、「阪神淡路大震災」の話がありまして、震災の時に生き埋めや閉じ込められた際の救助状況は、「自力で脱出した方(自助):約35%」、「家族、友人・知人、通行人に救助された方(共助):約63%」、「救助隊に救助された方(公助):約2%」だったそうです。救助隊も道路寸断などで、なかなか現場に行くのもできずに、救助が間に合わなかった方もいらっしゃいますし、救助後に亡くなられた方もいらっしゃったそうです。「72時間の壁」という言葉があるように、早期の救助が必要であり、数値にも表れているように、いかに地域や近隣の人と助け合って、自分にできる範囲で行動することが最も重要とおっしゃっていました。

公助については、「県、市町村、消防、警察などによる救助・救援など」のことだそうです。地震の話の中で、余震について、確認したのですが、内陸地震(活断層がズレて発生する)では、3日以内に発生することが多く、海溝型地震(海のプレーは年間、数cm～10cmほど陸のプレーに沈み込んでおり、その反発で発生する地震)では、10日以内に発生することが多い様です。

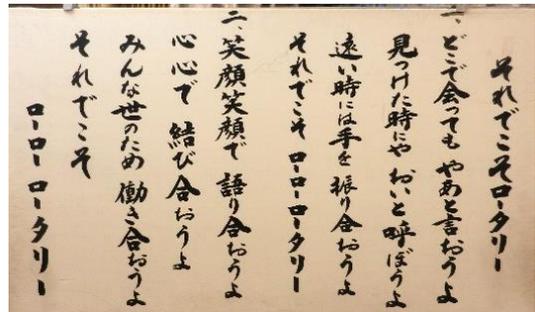
津波災害の話もあり、東日本大震災の映像を見せられて、津波の恐ろしさに恐怖が蘇り、胸を締め付けられた11年前を思い出しました。宮崎でも昔のことになりますが、1662年に日向灘沖で発生した外所(とんどころ)地震の大津波の話があり、津波が延岡から大隅半島を襲って、七つの村が水没したそうですし、宮崎市付近では高さ4～5メートルの津波に襲われたそうです。その供養として、木花地区では50年ごとに供養祭が行われ、供養碑が建立されているそうです。

最初の「仏作って、魂入れる」の話に戻りますが、防災対策での自主防災組織の活動など重要ではありますが、要は、通り一遍の防災計画を作るだけでは上手く機能しないので、「地域の規模、海岸沿いなのか町の中心街なのかなど、その地域の実情に応じた計画を作り、実働訓練を行っていくこと」が必要であるとのことでした。

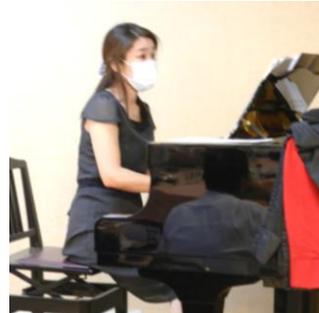
また、「防災対策の中心となっていく人(防災士?)を

育て、繋いでいくこと」も重要だとおっしゃっていました。

最後になりますが、この研修を受講して、「何もない時こそ、日頃の準備が大切だ」と感じましたし、「何よりも人の繋がりが最も大切なのではないのかな」と感じました。それこそ、この高鍋ロータリークラブも、「日頃から地域で顔の見える関係を作られている」共助の一つではと思った次第です。



正SAA 橋口 清和君



ピアノ演奏 森さん



卓上の花



クラブ研修委員長
岡島達雄君



ガバナー補佐
藤本範行君



本日の食事

□BOX 披露 親睦活動委員 岡部 由紀子 君
<ニコニコ・財団・米山BOX>

【野添勝久君】良いことが続きました。ず〜と続きますように。
【藤本範行君】お陰様ですっかり元気になりました。これからも補佐の任務をガンバリます。



□出席報告 出席委員 河原 好秋 君

出席状況 (8/25)

会員数	42名
出席会員数	38名
ホーム出席率	90.48%
修正出席率	92.86%



『メイクアップしましょう』 中部グループ各クラブメイクアップ会場 出席委員会		
月	宮崎南 宮崎東	宮崎観光ホテル ニューウェルシティー宮崎
火	宮崎 西都 宮崎アカデミー	宮崎観光ホテル あかのや 宮崎大学地域デザイン棟 (第2・第4)
水	宮崎北 佐土原	宮崎観光ホテル ワールドコンベンションセンターサミット
木	宮崎中央	ワールドコンベンションセンターサミット
金	宮崎西	宮崎観光ホテル

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

- 1、真実かどうか
- 2、みんなに公平か
- 3、好意と友情を深めるか
- 4、みんなのためになるかどうか